

全国3位、喜びかみしめ

天童高ダンス部 難易度上げ「満足の演技」



全国高校ダンスドリル冬季大会で3位入賞した天童高ダンス部のメンバー＝東京都(同校提供)

天童高(天童市)のダンス部(林星来部長)が、東京で開かれた全国高校ダンスドリル冬季大会のトップホップ男女混成部門ラージ編成で3位に輝いた。強豪が集う同大会での入賞は同校にとって4度目で、生徒

たちは喜びをかみしめた。大会はNPO法人「ミクスダンスドリルチーム・インターナショナル・ジャパン」(東京)が主催し、今月13、14の両日に開かれた。同校は昨年11月の東北大会で落下物などの反則によ

り、一度は全国出場の機会を逃した。しかし一定の演技レベルを満たしていると見て追加選出チームに選ばれ、出場権を獲得した。

同校は20人以上で臨むラージ編成に1、2年生計21人で出場した。振り付けはコーチを務める同校OGのHimawari(本名・田中向日葵)さんが担当し、昨年9月から本格的に練習を始めた。

同校ダンス部は歴代、激しい動きから突然静止してポーズを取る「ロック」を得意としている。今回の演技ではロックに加え、腕をムチのように振り回す「ワック」や、流れるような素早い足さばきが特徴の「ハウス」を加えて難易度を上げた。大会本番では生徒たちが手作りしたカラフルな衣装を身にまとい、息の合った動きを披露。出場5チーム中3位の成績を収めた。

2年の林部長(17)は「一

度は諦めた全国の舞台だったけれど、満足のいく演技で3位入賞を果たせてうれしい。今回の入賞を弾みに、現チームで臨む最後の大会でもある3月下旬の全国選手権大会『USAナショナルズ』で有終の美を飾りたい」と笑顔を見せた。

顧問の渡部英教諭(49)は「一人一人がチームのために努力してきた。みんなの頑張りをたたえたい」と話した。

(落合慶)

山形新聞

(令和6年1月24日)より